

銚子市立総合病院は、 こうして破綻した

【仮題】

——地域医療崩壊の真実

●著者：伊藤 恒敏

東北大学大学院医学系研究科発生生物学分野教授

前東北大学大学院医学系研究科地域医療教育開発センターセンター長

前東北大学大学院医学系研究科地域医療システム学(宮城県)寄附講座副主任

前銚子市病院事業あり方検討委員会委員長

前銚子市立病院指定管理者選定委員会委員長

●体裁：四六版／並製／縦書き／240ページ(予定)

●ISBN978-4-89041-986-9 C3034

●予価：2,310円(本体 2,200円＋税)

2011年
4月中旬
発売予定

銚子市立総合病院休止事件

【内容予定】

当事者だからこそ知り得た真実の記録

千葉県銚子市立総合病院は、経営悪化のため、2008年9月、休止に追い込まれた。

病院再開に向けて市が設置した「銚子市病院事業あり方検討委員会」や「銚子市立病院事業指定管理者選定委員会」で委員長を務めた著者が、市の抱えるさまざまな問題を知り、打開策を探っているうちに見えてきた医療崩壊の真実とは——。

うまいかなかった話にこそ、真実がある。「銚子市立総合病院は、なぜ休止したのか？」を知ることによって、地域医療崩壊を回避するヒントが見えてくる。

【目次予定】

序章 銚子市議会議長との出会い

第1章 休止に至るまでのいきさつ

1. 銚子市立総合病院の運営状況
2. 医師不足と医療崩壊
3. 休止に向かう銚子市立総合病院

第2章 市長のリコールと病院再生への道

1. 市長リコール(解職請求)運動の前夜
2. 「病院事業あり方検討委員会」の立ち上げ
3. 「銚子市立病院指定管理者選定委員会」の立ち上げ
4. 揺さぶられる「公正中立」の基本方針
5. 市長解職と市長選挙

第3章 「銚子市民病院」のその後

1. 銚子市民病院の再生
2. 銚子市立総合病院休止問題の本質
3. 医療崩壊を回避するためにやるべきこと

【お申し込み・お問合わせ先】

TEL: 03-3256-2862 FAX: 03-3256-2865

日本医療企画

〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14

◆ FAX 03-3256-2865 ◆

FAXは3月末日までに直接弊社へ！

..... 切り取り線

注文書	書店発注 1) 担当者様名	数 冊	発行・発行所：日本医療企画	TEL: 03-3256-2862 FAX: 03-3256-2865	2011年4月 中旬発売予定
	新刊 委託	銚子市立総合病院は、 こうして破綻した	【仮題】	予価：2,310円 (本体2,200円＋税5%)	
			ISBN978-4-89041-986-9 C3034		